



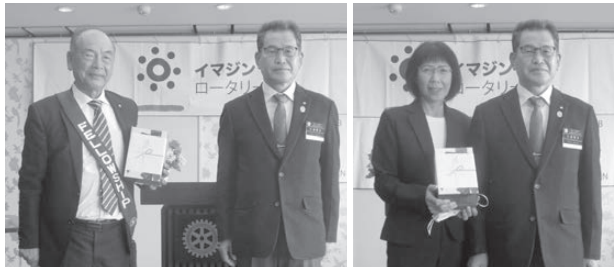
— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆卓話 米山奨学生 ボク・ユンス君(韓国)
テーマ『チャレンジとその足跡』
＝青少年健全育成プログラム＝
大本山總持寺祖院例会(於:門前町總持寺)
内容:祖院拝観・清掃・座禅・精進料理体験
対象:河井小学校5年生54名、先生3名

第2832回例会(10月11日)報告

司会 曾又博史 SAA委員長

- ◆開会点鐘 石橋賢良会長
- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆ビジター紹介 石橋賢良会長
 - ・東京米山eRC 島田克己会員
 - ・東京米山eRC 島田佳世子会員
- ◆誕生日祝い(10月) 大西哲雄親睦活動委員長
 - ・8日 井筒賢治会員
 - ・19日 池端速雄会員
 - ・17日 寒長弘子事務局員



◆会長の時間 石橋賢良会長

「ロータリーの親睦」を正しく理解するには、「知り合い程度の交友」と「親しい者同士」の友情の違いを知っておかなくてはなりません。

ロータリークラブは「同じ目的と理念を持つ組織」である以上、その会員であるロータリアン同士の間柄は、「知り合い程度の交友」や「親しい者同士」ではなく、「ロータリーの親睦」であることは明白です。すなわち、「ロータリーの親睦とは、単なる友情ではなく、ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識」なのです。

1923-1924年度のRI会長 Guy Gundakerは、「ロータリーの親睦」とは“ロータリーという苗木が成長するために、その根に栄養を与えてくれる土壌である”と述べています。

これは、“ロータリーという苗木が立派に成長していくためには、「ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識」を強め高め合う『親睦』という栄養に満ちた土壌が必要である。”というように理解すればよいでしょう。

言い換えれば、ロータリーと言う苗木の成長・発展は、ロータリーの親睦と言う土壌にかかっていると良いでしょう。ロータリーに入会し、「知り合い程度の交友が友情で繋がり、やがて志を同じにする仲間となり」互いに語り合い、切磋琢磨し、協力しながら、ロータリーの理想達成を目指す仲間意識を高め合うことが「ロー

タリーの親睦」であるということです。でも、親睦は必要ですが、目的ではないし、すべてでもありません。

- ◆幹事報告 大向洋紀幹事
 - ・10月18日(火)の例会は休会となります。ご注意を!
 - ・10月25日(火)の例会は会場を変更し、青少年健全育成プログラム「大本山總持寺祖院例会」となっております。午前11時50分までにロータリージャンパーを着用して總持寺に集合して下さい。

◆出席報告 寺西堅太出席・ニコニコBOX委員

10月11日の暫定出席率: 67.86%

(出席19名、欠席9名)

9月20日の確定出席率: 75.00%

(出席21名、欠席7名、メイク加算0名)

◆ニコニコBOX報告 寺西堅太委員

- ・お世話になります。
東京米山eRC 島田克己会員、島田佳世子会員
・東京米山eロータリークラブ島田克己・佳世子ご夫妻、ようこそ輪島ロータリークラブへ。 石橋賢良会長
・国際奉仕委員会の皆さん、今日の勉強会よろしくお願ひします。 石橋賢良会長
・島田克己・佳世子ご夫妻、ようこそ輪島RCへ。

- 大向洋紀幹事
・輪島ロータリークラブ・ゴルフ同好会第26回ゴルフコンペに参加者の皆様、10月19日は宜しくお願ひします。
浦見久美子会員
・誕生日お祝い有難うございます。10月19日にて70歳になります。 池端速雄会員
・まさか誕生日祝を頂けるなんてビックリ!石橋会長サプライズありがとうございます。 寒長弘子事務局員

◆卓話 池端速雄国際奉仕委員長

テーマ『国際奉仕委員会による勉強会』

輪島ロータリークラブの国際奉仕委員会が実施してきた事業、昭和55年に結成し平成21年に団員の減少で解散するまでの「輪島少年少女合唱団」の活動や、1982年に台湾の吉安RCとの姉妹クラブ締結とその後の国際親善交流の歴史。また、アメリカ、オーストリアを対象とした長期交換留学生の受入(14名)と派遣(13名)。さらに10月25日(火)に行われる青少年健全育成プログラムについての奉仕活動の紹介があった。



◆閉会点鐘 石橋賢良会長

〔編集:今井善弘会員〕